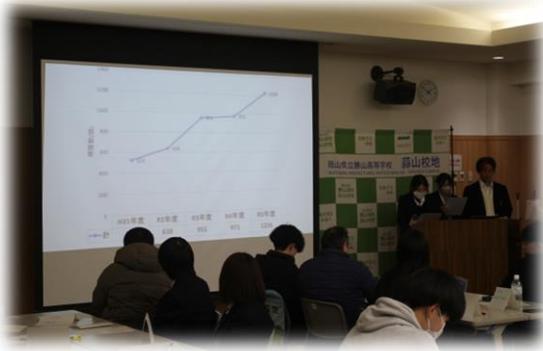


## EVENT

# ●成果発表会・蒜山ミライ会議ミニ

1月30日(金)に蒜山振興局で、2年生CPIⅡの成果発表会と蒜山ミライ会議ミニが行われました。成果発表会では、司会を務めました。全校生徒と地域の方も多く参加されており、緊張しましたが良い経験になりました。2年生は活動を通して様々なチャレンジをしており、レベルが高い発表で興味深かったです。私達も来年に向けて、様々なことに挑戦をしたいと思いました。

蒜山ミライ会議では、来年のCPでどのような活動をしたいかや、蒜山での生活について話をして盛り上がりました。また、他学年や地域の方など普段あまり話をしない人と交流ができました。(寄稿:1年 池田楓・小椋)



## EVENT

# ●1年生 バイオマスツアー

2月10日(火)、CPIⅠのバイオマスツアーで真庭バイオマス発電所・銘建 CLT 工場、真庭くらしの循環センター、銘建工業株式会社本社に行きました。真庭バイオマス発電所では廃材から作られたペレットを燃やすところを、CLT工場ではCLTが生成される過程を見学しました。

午後には銘建工業本社に行き、CLT木材を使った本社内を見学しました。真庭くらしの循環センターでは、市内外から回収される生ゴミやし尿を発酵させて液体肥料にしたり、発電機で電力に変え施設内の電気をまかなったりしていると分かりました。CLT工場を見学して、CLT木材は結構分厚かったのが意外でした。バイオマス発電は聞いたことはあったけど、どのようにして電力に変えるのか知らなかったのが間近で見られて良い経験になりました。また、節電にも心がけようと思いました。(池田悠)



勝山高校蒜山校地  
学校新聞

ひるこう  
タイムズ



第267号 R8.2.25

毎月25日発行

勝山高校蒜山校地 探究・情報課

katuyama-hiruzen@pref.okayama.jp

### 蒜校生がりポート!

ひるこうタイムズ記者  
(取材・撮影・記事執筆)  
蒜山ABC部(文化部)

1年生:池田悠・国森・佐々木

3年生:高橋

※ ●は生徒、●は教員担当の記事

### 行事予定

#### 2月

25日~3月2日

学年末考査

27日(金) フラワーアレンジメント体験会  
(2,3限)

28日(土) SDGs 円卓会議

#### 3月

2日(月) 同窓会入会式  
学校賞表彰式  
卒業式予行

3日(火) 卒業式

4日~18日 AM授業(1~3限)

4日(水) e-スポーツ体験会

5日(木) だっぴ(AM)

※9日(月)~13日(金)は登校禁止

16日(月) Start 蒜校

19日(木) 終業式

26日(木) 入学予定者登校日

※行事予定は、諸事情により変更・追加されることがあります。ご了承ください。

## EVENT

# ● 2年生 CP II デイツアー

2月10日(火)2年生が真庭デイツアーに参加しました。CP IIで地域に関わるプロジェクトに取り組んでおり、真庭市内の事業所(粋呑房、真庭高校経営ビジネス研究所「ma・chi・e」、ジェラート醍醐桜、北房振興局)を訪問しました。粋呑房では、蒜山の自然と食材の関わりについてのお話をお伺いしました。昼食にジビエバーガーをいただき、ジビエ特有の匂いが全くなく生徒にも大好評でした。ジビエの普及活動について探究をしている生徒達は刺激を受けたと思います。

「ma・chi・e」では、真庭高校が運営する空き家店舗の実践について教えていただきました。商品開発や地域と連携しながらカフェを経営するなど、同世代の生徒が活動している様子を知ることができました。ジェラート醍醐桜では、地域の特産物を使った商品開発についてお話を伺いました。実際にジェラートもいただき、蒜山の食材を使った新しいスイーツを探究している班の生徒達には良い経験になりました。

最後に北房振興局では、真庭市地域おこし協力隊の小林健太さんが里山管理や森林資源の活用に取り組んでいる活動についてお伺いしました。林業という視点から真庭市のことを知り、生徒も知見を広げることができました。生徒の探究活動のために協力してくださった皆様、ありがとうございました。



## NEWS

# ● BeLive プレゼンテーションイベント 最優秀賞受賞!

1月31日(土)さん太ホール(岡山市)で行われた、第6回 BeLive プレゼンテーションイベントに3年生の塚本さんが参加をしました。「BeLive」は、高校生の持つ柔軟な発想と岡山に根差す、企業・団体の力を掛け合わせたSDGsの取組・発表を通じ、岡山の新しい未来を創造するプロジェクトです。

彼女はCPで取り組んだ蒜山の伝統工芸品と伝統食品を組み合わせたふるさと納税返礼品のプロデュースについて発表をしました。審査の結果、20チームの中から最優秀賞に選ばれました。審査員長からは「伝統品を組み合わせるアイデアだけでは終わらず、ふるさと納税という手段を使って伝統を継承している活動が地方創生そのものである。」という講評をいただきました。

塚本さんの努力だけでなく、蒜山地域の皆様との繋がりがあったからこそ最優秀賞という結果だと思います。当日の発表動画は「BeLive 実行委員会」のチャンネルにYouTube動画がUPされているのでご覧ください。

また、ふるさと納税返礼品も数量限定で受付けています。「ふるさとチョイス」のサイトから、「真庭市 甘酒 郷原漆器」と検索していただければ、ページをご覧くださいませ。よろしくお願いいたします。

